
第1章 調査の概要

1 調査の目的

令和6年度から令和8年度までの3年間を対象期間とする「小平市地域包括ケア推進計画（小平市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）」の基礎資料とするため、高齢者の生活状況や支援サービスの利用意向、要支援・要介護認定を受けた方のサービス利用実態、意向等を把握し、今後の高齢者福祉施策や介護保険サービスの基盤整備、新たな施策の対応等に資することを目的に実施しました。

2 調査対象

- ①一般高齢者アンケート（要支援・要介護認定者を除く）
小平市にお住まいの65歳以上の高齢者 2,000人
- ②介護保険サービス利用状況アンケート
介護保険の在宅サービスを利用されている方 1,800人
- ③介護保険サービス利用状況アンケート
介護保険の施設・居住系サービスを利用されている方 900人
- ④介護保険サービス利用状況アンケート
介護保険サービスを利用されていない方 900人
- ⑤介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（要介護認定者を除く）
小平市にお住まいの65歳以上の高齢者 2,000人
- ⑥介護支援専門員（ケアマネジャー）アンケート
市内居宅介護支援事業所の介護支援専門員（ケアマネジャー） 133人

3 調査期間

令和4年11月21日から12月20日まで

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	種類	配布数	有効回収数	有効回収率
①	一般高齢者	2,000	1,225	61.3
②	在宅サービス利用者	1,800	1,032	57.3
③	施設・居住系サービス利用者	900	420	46.7
④	介護保険サービス未利用者	900	532	59.1
⑤	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000	1,325	66.3
⑥	介護支援専門員（ケアマネジャー）	133	111	83.5
	合計	7,733	4,645	60.1

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）